

## 目 次

はじめに——「被害者学の現在地」から見える日本の犯罪被害者支援

<b>序 章</b>	<b>犯罪被害者等への支援の歩みと被害者学の現在地</b> …………… 齋藤 実 1
<b>I</b>	犯罪被害者等への支援の歩み 1
<b>II</b>	被害者学の現在地——本書で扱う内容 5
<b>III</b>	被害者学について 9

## 第 1 部 近年の被害者支援をめぐる動向

<b>第 1 章</b>	<b>国による犯罪被害者等への弁護士制度</b> …黒井 新 12
<b>I</b>	本章のポイント 12
<b>II</b>	犯罪被害者支援弁護士制度制定までの経緯 12
<b>III</b>	犯罪被害者支援弁護士制度の概要 17
<b>IV</b>	今後の課題と展望 18

<b>第 2 章</b>	<b>刑事手続における犯罪被害者の氏名等の情報の保護</b> …………… 吉沢 徹 21
<b>I</b>	本章のポイント 21
<b>II</b>	上記各制度制定までの経緯 21
<b>III</b>	被害者の氏名等の情報を保護する諸制度の概要 26
<b>IV</b>	今後の課題と展望 29

**第3章** 犯罪被害者等の立場から見た保釈制度…天野 康代 31

- I** 本章のポイント 31
- II** 令和5年改正までの経緯 32
- III** 令和5年改正による制度の内容 34
- IV** 今後の課題と展望 40

**第4章** 運用を開始した「刑の執行段階等における被害者等の心情等の聴取・伝達制度」の現状と今後の展望……………齋藤 実 42

- I** 本章のポイント 42
- II** 制定の経緯 43
- III** 心情等伝達制度の概要及び現状 45
- IV** 心情等伝達制度の今後の展望 48
- V** 心情等伝達制度が期待に応える制度となるために 51

**第5章** 民事執行法改正後の財産状況調査と損害賠償請求の実効化……………町村 泰貴 53

- I** 本章のポイント 53
- II** 債務者の財産開示制度制定までの経緯 54
- III** 財産状況調査制度の概要 58
- IV** 今後の課題と展望 60

**第6章** 犯罪被害者給付制度の今後  
——国による立替払制度を求める日弁連意見書を中心に……………高橋みどり 62

- I** 求められる新たな補償制度 62
- II** 犯罪被害者給付制度の創設とその後の改正等の動き 62
- III** 本制度の概要 65
- IV** 今後の課題と展望 69



## 第2部 被害者支援の理論と展望

第1章	犯罪被害者給付金制度における家族像 ——遺族給付金の支給対象をめぐる最高裁判決を手がかりに …………… 立石 直子 122
-----	---

I	犯罪被害者の実態と犯罪被害者給付金制度 122
II	犯罪被害者給付金をめぐる裁判 125
III	自治体における見舞金制度等 127
IV	改正動向と今後の課題 129

第2章	被害者参加制度の本質と 被害者支援弁護士的重要性…………… 番 敦子 131
-----	---

I	本章の目的 131
II	被害者の権利と支援弁護士の活動のはじまり 132
III	支援弁護士の活動の広まりと犯罪被害者等基本法の制定 133
IV	被害者参加制度の創設 134
V	被害者参加制度の今日的課題 138
VI	支援弁護士の活動のさらなる重要性 140

第3章	北欧の犯罪被害者等への支援施策から学ぶこと ——国による犯罪被害者等への経済的支援（北欧における 補償制度、特にフィンランドの補償制度）を中心に …………… 齋藤 実 142
-----	--

I	日本の犯罪被害者等支援施策の課題 142
II	北欧の犯罪被害者等への支援施策 143
III	北欧での国による犯罪被害者等への経済的支援について 145
IV	検討会での「立替払制度」に関する議論 148
V	北欧から学ぶこと 151

<b>第4章</b>	<b>犯罪被害者庁の存在意義</b> ——スウェーデンにおける犯罪被害者庁設立の 経緯とその活動から考える…………… 矢野 恵美 153
	<b>I</b> 本章のポイント 153
	<b>II</b> 犯罪被害者庁設立以前 154
	<b>III</b> 犯罪被害者庁設立 157
	<b>IV</b> 犯罪被害者庁の任務 158
	<b>V</b> 新たな動きと課題 163
	<b>VI</b> 犯罪被害者庁の必要性 164
<b>第5章</b>	<b>日弁連犯罪被害者支援委員会の歩みと これからの展望…………… 合間 利 166</b>
	<b>I</b> 本章について 166
	<b>II</b> 犯罪被害者支援委員会の歩み 167
	<b>III</b> これからの展望 175
<b>第6章</b>	<b>犯罪被害者支援の「これまで」と「これから」</b> ——日本弁護士連合会の活動を中心として…… 有田 佳秀 178
	<b>I</b> 犯罪被害者支援のこれまで 178
	<b>II</b> 2017（平成29）年時点の状況と課題 179
	<b>III</b> その後、現在（2024（令和6）年6月）までの進展と残されている課題、問題 182
	<b>IV</b> 犯罪被害者支援のこれから 185
	<b>V</b> 犯罪被害者庁について 186
<b>第7章</b>	<b>あすの会の歩みとこれからの展望</b> …………… 岡村 勲、米田 龍玄 189
	<b>I</b> 全国犯罪被害者の会（あすの会）の設立 189
	<b>II</b> 旧来の日本の刑事司法の実態 190
	<b>III</b> 改 革 191
	<b>IV</b> 新全国犯罪被害者の会（新あすの会）の再結成 194

おわりに——「被害者学の現在地」と北欧の犯罪被害者支援  
索 引